

ウツクシマツ情報局



令和6年度 第8号

ウツクシマツ自生地で三雲小学校3年生の子どもたちが落ち葉掻きをしました

11月8日（金曜日）に三雲小学校の3年生の子どもたちが平松のウツクシマツ自生地で落ち葉掻きをしました。

三雲小学校はみどりの少年団に加盟していて、その活動の一環で3年生の児童が平松のウツクシマツ自生地を守る取組をしました。

まず、子どもたちに事前学習としてウツクシマツを知ってもらうための講習があり、ウツクシマツ自生地をよく知っていて、ウツクシマツ以外の樹木にも精通している滋賀県樹木医会の樹木医の資格を持つ方を講師にお招きして、ウツクシマツについて学習しました。

講師の方からウツクシマツ自生地についての説明と、なぜ落ち葉掻きの作業が必要なのか、などの説明があり、子どもたちは熱心に聞いていました。

ウツクシマツの講習を聞いた後は、ウツクシマツ自生地へ移動し、ウツクシマツ自生地内で落ち葉掻きを体験しました。

ウツクシマツ自生地についてや、落ち葉掻きをする理由などの説明を聞き、その後自生地内で学習する様子





ウツクシマツ自生地前で実際の落ち葉掻きのやり方を聞いた後、子どもたちはウツクシマツ自生地内で落ち葉掻きの作業を始めました。

当日は快晴で過ごしやすい環境の中、二班に分かれてウツクシマツ自生地の地表の落ちた落ち葉を集めました。集めた落ち葉は90リットルのポリ袋が10袋程度が一杯になるほどでした。

落ち葉掻きをしないと溜まった落ち葉が腐葉土となります。マツは他の植物が育ちにくい栄養が少ない痩せた土地でも成長できることから、落ち葉掻きをしてウツクシマツ自生地をきれいにしています。

ウツクシマツ自生地をマツが生長しやすい環境にするために、今後も子どもたちを含め、多くの方の手も借りながら進めていきます。



自生地内で落ち葉
を集める様子

集めた落ち葉は
ポリ袋に回収

作業完了

